

COE 最終成果報告会

- 研究成果を未来へつなぐ -



本COE・イノベーション研究・教育成果の発表を通して、
 先端科学技術の研究の場、さらに社会のあらゆる状況において、
 イノベーションをおこすために知識科学は何ができるのかを考えてまいります。



21世紀COEプログラム
 「知識科学に基づく科学技術の創造と実践」
 - 分野横断イノベーション研究教育拠点 -

COE は日本に世界最高水準の研究教育拠点 (Center Of Excellence) を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材の育成を図るため、平成 14 年度から文部科学省が実施している事業。本 COE は本学で採択された最初の COE プログラムであり、平成 15 年度から始まって今年が 5 年目、最終年度である。
 本 COE は先端科学技術の研究の場、さらに社会のあらゆる状況において、イノベーションをおこすための知識創造プロセスの研究、そして、それを担う人材としての「知のコーディネータ」「知のクリエイター」育成に取り組んでいる。
 文理融合を、マテリアルサイエンス研究科〔理系〕と知識科学研究科〔広い意味での文系〕の連携プロジェクトという形で実践している点が、本 COE の大きな特色である。

日時 : 2008 年 2 月 26 日(火) 13 : 30 ~ 17 : 30

会場 : JAIST 知識科学研究科棟・中講義室

>>> どなたでもご参加いただけます。

プログラム

拠点形成活動プロジェクト の研究成果発表 13:35~15:05

イノベーションに関する研究&教育の拠点づくりのために5つのプロジェクトを構成して活動。	1. 知識科学の定義と普及 梅本プロジェクト - 知識科学つまり「知とは何か?」「知はいかに創られるか?」という大きな問いの答えを見つける知的営為に挑戦
	2. 知識創造モデルとナレッジマップ Maプロジェクト - 科学技術創造場における知識創造モデルの開発とナレッジマップを作成
	3. 学際コミュニケーション・サイエンスカフェ 小林プロジェクト - 学問分野間、異なる組織間の壁を越えるためのコミュニケーションスキル育成方法の検討
	4. 知識創造場の評価システム 中森プロジェクト - 科学技術開発の「良い場」の検討とシステム概念を用いた知識創造場の再設計を試行
	5. JAIST の知識情報環境整備・電子図書館 吉田プロジェクト - 本COEホームページ上に『知識科学図書館』を開設し、運営
拠点形成活動総括 拠点リーダー 中森 義輝 教授	

<<<< 休憩 15:05~15:10 >>>>

イノベーション研究&教育プロジェクト の研究成果発表 15:10~17:30

研究 では知識・マテリアル両研究科による5つの文理融合プロジェクトにより、マテリアル研究室におけるイノベーション創出と、それを担う人材「知のコーディネータ」「知のクリエイター」を生み出す方法を検討。各プロジェクトメンバーは両研究科教員と博士後期課程学生から選抜したりサーチアシスタント(RA)で構成し、RAはそこで知のコーディネータ・知のクリエイターの実践力を体得する。	6. 成熟産業におけるイノベーション 寺野プロジェクト - 新しい研究テーマ探索方法を開発
	7. 研究哲学に裏打ちされた知識創造活動 由井プロジェクト - 独創的な研究に取り組む研究者に共通する哲学・動機付けと背景にある研究室の文化を探索
	8. コーディネーションのための知識表現法 堀プロジェクト - 価値の違いがわかるコーディネータの養成とクリエイターの発表技術を高めるソフトを開発
	9. 研究室のナレッジマネジメント 民谷・高村プロジェクト - 文化人類学的視点による大学研究室の個別課題発見と研究パフォーマンス向上への基礎的研究を実施
	10. モブアルバムを利用した研究室ナレッジマネジメント 水谷プロジェクト - モブアルバムの活用によって実験系研究室での新しい知識共有の場を創造
教育 ではイノベーションを担う人材育成に向け2つのプロジェクトを実施し、また、成果を産学官連携事業へ応用。	11. 統合科学技術コースにおけるカリキュラム開発 高木プロジェクト - 新カリキュラムとして「地域再生システム論」などの実施および「イノベーション教育」への検討
	12. ソーシャル・イノベーション 近藤プロジェクト - 地域イノベーションを推進する、イノベータ人材育成プログラムを開発
イノベーション研究&教育総括およびCOEの未来展望 中森 義輝 教授	

*スケジュールは変更になる場合があります。